

冬の

核燃料サイクル工学研究所

1day職場見学会

茨城県東海村 JR東海駅東口集合【12:30】

開催内容

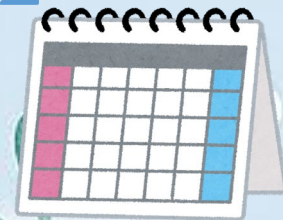
- ・ 研究所の概況紹介
- ・ 研究開発施設見学
- ・ 若手職員の業務紹介
- ・ 職員との意見交換会

★旅費・宿泊費支給！

※複数回参加の場合は2回分
まで支給となります。



日程・見学施設



第1回：令和7年12月19日（金）

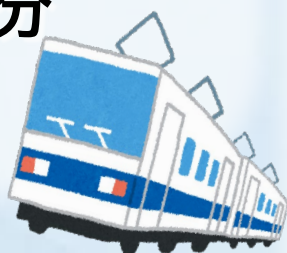
見学施設：高レベル放射性物質研究施設(CPF)

第2回：令和8年1月9日（金）

見学施設：プルトニウム燃料第三開発室(Pu-3)

第3回：令和8年1月30日（金）

見学施設：低放射性廃棄物処理技術開発施設(LWTF)
ガラス固化技術開発施設(TVF)



対象

- ・ 理系高専生
- ・ 理系大学生・大学院生

★各回12:30～17:00まで

★複数回参加可！

★各施設の詳細は裏面をチェック！

申込み

右記のQRコードまたは下記URLからお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/1DD8LLrLip>



応募締切：第1回:12月7日、第2回:12月17日、第3回:1月16日

▶お問合せ先 ☒ ncl-saiyo@jaea.go.jp

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

核燃料サイクル工学研究所 労務課（担当:市倉、長山、川本）



核燃料サイクル工学研究所 1day職場見学会

施設一覧

1.

高レベル放射性物質
研究施設 (CPF)



CPFは、使用済み燃料、プルトニウム、ウラン等を用いた核燃料サイクル関連技術及び東京電力福島第一原子力発電所の廃止措置に関する試験研究等が可能な設備を整備。これらの設備を用いて、基礎試験、分析等を実施。

詳しくはこちら→



2.

プルトニウム燃料
第三開発室 (Pu-3)



Pu-3は、世界に先駆けて開発した遠隔・自動運転によるMOX燃料製造技術開発を採用した施設。現在はその設備を活用し、MOX燃料の量産技術開発や、AI等を利用した製造技術の高度化などを実施。

詳しくはこちら→



3.

低放射性廃棄物
処理技術開発施設 (LWTF)
ガラス固化技術開発施設
(TVF)



LWTFは、低レベル液体廃棄物を安全でかつ経済的に処理するために触媒還元法を用いた硝酸イオンの分解処理やセメント固化処理のR&Dを実施。

TVFは、高レベル放射性廃液を処理するためのガラス固化技術等に関する技術開発等を実施。

詳しくはこちら→



施設概要

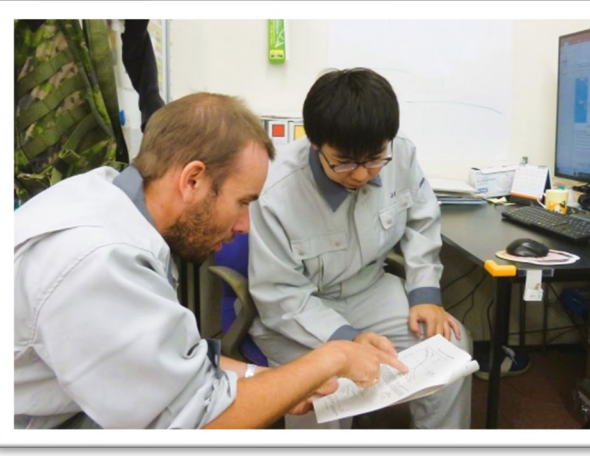
こんな人が働いています！



【部署】
BE資源・処分システム開発部

【業務内容】
プルトニウム (Pu) やアメリシウム (Am) といったα核種の分析の妥当性評価や、使用済み吸着材の分析手法の検討を担当。

【一言】
PuやAmを扱うこともとても貴重な経験だと思っているので毎日が楽しいです。



【部署】
MOX燃料技術開発部

【業務内容】
MOX燃料の物性研究を担当。特に、炉内でのMOX燃料の温度を評価するための「熱伝導率」を測定する研究を担当。

【一言】
物性研究には幅広い知識が必要で大変ですが、学会発表の機会などもあり充実した研究生活を送っています！



【部署】
TRP廃止措置技術開発部

【業務内容】
東海再処理施設から採取される廃液や環境水等の放射性物質を含む試料の分析とそのデータ解析を担当。

【一言】
分析試料は放射性物質ですが、分析の操作は一般の化学分析と変わらないため、学生時代の技術や知識を活かしています！

専攻分野

理学系：数学・情報、物理、化学、生物・農学、地学・地球科学、量子科学
工学系：機械・システム工学、電気・電子、材料、土木建築、環境工学、原子力

各大学・高等専門学校
就職支援御担当者様

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核燃料サイクル工学研究所 労務課

「核燃料サイクル工学研究所 1day 職場見学会」の御案内について

拝啓 時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

当機構の採用活動につきまして平素より御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今般下記のとおり、核燃料サイクル工学研究所の業務を学生の皆様により広く知っていただくための「1day 職場見学会」を開催することとしましたので、御案内申し上げます。

敬具

記

1. 開催日程

第 1 回：令和 7 年 12 月 19 日（金） 12：30～17：00

見学施設：高レベル放射性物質研究施設（CPF）

第 2 回：令和 8 年 1 月 9 日（金） 12：30～17：00

見学施設：プルトニウム燃料第三開発室（Pu-3）

第 3 回：令和 8 年 1 月 30 日（金） 12：30～17：00

見学施設：低放射性廃棄物処理技術開発施設（LWTF）

ガラス固化技術開発施設（TVF）

2. 当日スケジュール（予定）

12：30	東海駅東口集合 ※当機構バスにてお迎えいたします。
12：50	核燃料サイクル工学研究所 着
12：55 ～13：30	核燃料サイクル工学研究所 概況紹介
13：40 ～13：55	研究所内一巡
14：00 ～15：30	研究施設見学
15：40 ～16：30	若手職員との意見交換会
16：40 ～17：00	東海駅東口へ移動、解散 ※当機構バスにてお送りいたします。

3. 応募締切

第 1 回締切：令和 7 年 12 月 7 日（日）17 時

第 2 回締切：令和 7 年 12 月 17 日（水）17 時

第 3 回締切：令和 8 年 1 月 16 日（金）17 時

4. 募集人数

各回 15 名程度

※締切前であっても応募者が上限に達した場合は募集を締め切ります。

予め御承知おきください。

5. 申込み方法

下記 URL もしくは QR コードより回答フォームにアクセスいただき、必要事項を御入力ください。お申込みいただけましたら、申込完了通知メールを送付いたしますので、公的身分証明書のカラーデータを添付の上返送ください。

【お申込み先】 <https://forms.office.com/r/1DD8LLrLip>



6. 旅費

所属大学・高専の最寄り駅から JR 東海駅までの往復交通費について、当機構の規定に基づき後日銀行振込にてお支払いいたします。

参加にあたり宿泊を要する方については原則、外来者用多目的宿泊施設（以下 JAEA Tokai Mirai Base）に御宿泊いただきます。宿泊費（1,200 円/1 泊）は交通費同様機構にて負担いたします。JAEA Tokai Mirai Base が満室のため宿泊不可の場合、一般の宿泊施設に御宿泊いただき、宿泊料金の実費を支給（上限 13,100 円）することとなりますので予め御了承ください。各回の募集締め切り日翌営業日を目途に、JAEA Tokai Mirai Base の宿泊可否を御連絡させていただきます。

参加者には、事前に当機構様式の「振込依頼書」を送付いたしますので、記入の上、当日御持参ください。

※核燃料サイクル工学研究所まで日中の移動が可能な場合、宿泊費の支給が不可となります。御事情によっては支給対象となる場合がございますので事前に御相談ください。

※旅費の支給については御参加いただいた日程のうち、2 回まで支給となります。

例：全日程（3 回）に御参加いただいた場合、2 回分の旅費のみ支給いたします。

7. その他

(1) 当日は、事前に写しを御提出いただいた顔写真付き公的身分証明書の原本（運転免許証、マイナンバーカード、パスポート等）、を必ず御持参ください。

(2) 構内は写真撮影が禁止されています。また、構内へのカメラの持ち込みは禁止されています。もし手荷物の中にカメラが含まれている場合は、正門警備所にて預かりとなります。（カメラ付携帯電話の持ち込みは可能です。）

8. 担当・連絡先

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所
労務課 市倉、長山、川本

TEL : 029 - 282 - 9040 Mail : ncl-saiyo@jaea.go.jp

以 上